

警察庁には、「情報通信技術」という専門性をキャリアの軸にした、技術のプロフェッショナルがいます。

それが、警察庁の一般職技術系職員です。警察独自の情報通信ネットワーク・情報管理システムの構築や犯罪捜査の技術支援等の業務を担い、国民の安全・安心を守る第一線警察活動に欠かせない存在となっています。

3

女性が活躍することができる職場がここにはあります。

女性が長く働き、活躍する事ができる職場が警察庁にはあります。職場環境面では、子供が3歳になるまで休業できる育児休業制度をはじめとした妊娠・出産・育児の支援に関する休暇制度も整っており、安心して子育てをしながら働くことができます。



4

ワークライフバランスの推進。

職員が仕事に打ち込むためには、職員自身のプライベートの充実も不可欠です。政府が進めている「働き方改革」はもちろんのこと、男性職員の育児休業の取得、子育て、趣味など職員がワークライフバランスを取りながら自己の能力を最大限に発揮できるよう、職場として後押ししています。



警察庁
National Police Agency

募集資格

- ・国家公務員採用一般職試験(大卒程度試験)
技術系全区分
- ・国家公務員採用一般職試験(高卒者試験)
技術系全区分
- ・第一級陸上無線技術士 資格保有者

また、一定の職歴等を有する方を対象とした、経験者選考採用を実施する場合もあります。

採用窓口について

警察庁一般職技術系職員の採用は、各管区警察局、四国警察支局、北海道警察情報通信部及び東京都警察情報通信部において行っております。詳しくは、[警察庁採用情報サイト]をご覧ください。



警察庁一般職技術系 公式Twitter

警察庁及び各地方機関における業務説明会や官庁訪問情報など、警察庁一般職技術系の採用に関する情報を発信しています。

@NPA_infocom2



採用に関するお問い合わせ

警察庁長官官房人事課 一般職技術系採用担当
〒100-8974 東京都千代田区霞が関二丁目1番2号
TEL : 03-3581-0141(代表) / 内線2698

一般職技術系

採用案内

警察庁

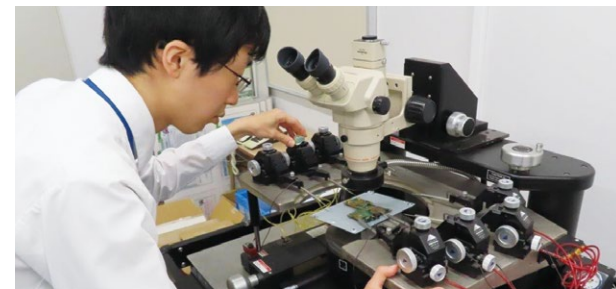


警察庁一般職技術系 職員の魅力・役割

1

理系のチカラで警察にソリューションを。

様々な先端技術の登場や社会のデジタル化の進展により、技術分野は変革の時期を迎えています。予測不可能な時代だからこそ、技術面で警察のあらゆる問題を解決していくことが一般職技術系職員に求められています。



2

質の高い充実した研修制度。

採用1年目の採用時研修や、採用2年目以降の充実した各種研修など、基礎的な内容から専門的な内容まで、全国の同期と切磋琢磨しながら学ぶことができる質の高い研修制度が整っています。





多様な活躍のフィールド

警察庁本庁での勤務はもとより、都道府県警察や他省庁への出向、海外・国内の大学等での研究など、現場で培った技術力を活かし、チャレンジ・活躍できる環境が警察庁にはあります。

採用区分にとらわれず、広い知見を持つことは、今後のあなたを成長させ、ひいては警察の未来を支えていくことにつながります。

都道府県警察への出向



現在の業務内容

私は、熊本県警察に出向し情報管理課で各種情報システムの維持管理、システムの更新等の業務を担当しています。また、情報セキュリティを維持するための県警職員への指導・教養なども行っています。

熊本県警察本部 警務部
情報管理課 係長
2012年採用
無線従事者資格

機動通信課 通信施設課 情報技術解析課

警察活動においては、あらゆる事件、事故、災害等に迅速かつ的確に対応するため、指揮、報告、連絡等に用いる強靱な情報伝達手段が不可欠であり、無線機等の通信機器や無線中継所等の通信施設は「警察の神経系統」として大きな役割を果たしています。

機動通信課では、これらの通信機器・通信施設が常に万全の機能を発揮できるように、平素から点検、調整、監視といった維持管理業務に当たるとともに、災害や障害等の発生に備え、想定外の事態でも対処できるように実戦的な訓練を繰り返し行っています。

実際に事案が発生した場合は、情報通信部の職員で構成する機動警察通信隊が直ちに出勤し、現場の状況を撮影して警察本部へ映像を伝送するほか、無線などの通信機器により、現場活動を行う警察官の通信手段の確保を行います。

このほか、世界的な会議や博覧会、大規模国際大会のようなイベントが国内で開催される際には、大規模な警備が行われますので、警備が円滑に実施できるよう必要となる通信の確保を行います。



現在の業務内容

警察活動に必要な電話やネットワーク、各種警察情報を管理するシステムなどの点検や保守作業を担当しています。また、事件・事故・災害が発生した場合は情報通信部の職員で構成する機動警察通信隊の一員として、警察活動の基盤となる通信を確保するための様々な活動を行っております。

2021年採用
関東管区警察局
一般職試験(大卒程度)
化学



いつでもどこで発生するか分からない事件、事故、災害等に的確に対応するため、警察では全国を網羅する通信網が構築されており、現場警察官の指揮命令や報告連絡等に活用されています。

通信施設課では、このような通信網を実現する警察通信施設の整備を行っています。整備に当たっては、耐災害性、利便性、コスト等を考え、警察にとって最適な技術を導入することが求められており、先端技術情報の収集や、関係省庁、民間事業者等との連携が欠かせません。

2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会では、重要施設、関連施設等に臨時の警察通信施設を設置し、円滑な現場警察活動に貢献しました。警備の「神経系統」を情報通信技術により整備する通信施設課の責務は、ますます重要なものとなっています。



現在の業務内容

私は現在、警察通信施設の維持管理に関する業務を担当しています。いかなる有事の際にも警察通信施設が滞りなく稼働し、警察活動に支障をきたさないよう計画的な維持工事等を行っています。

2012年採用
九州管区警察局
一般職試験(大卒程度)
電気・電子・情報

昨今では、パソコンやスマートフォンだけでなく、家電を始めとしたあらゆるものがインターネットにつながるようになっており、サイバー空間は私たちの日常生活の一部となっています。一方で、様々な Web サービスを悪用した新たなサイバー犯罪が次々と現れるほか、社会の機能を麻痺させるサイバー攻撃が世界規模で発生するなどサイバー空間における脅威は深刻な状況にあります。また、スマートフォン、パソコン等の電子機器はサイバー犯罪・サイバー攻撃のみならずあらゆる犯罪で犯罪者に悪用されています。

情報技術解析課は、多様化・高度化するサイバー犯罪・サイバー攻撃等の事件捜査や防犯対策において、都道府県警察を技術的に支援する役割を担っており、電子機器からの情報の抽出・可視化、不正プログラムの解析、発電所等の重要インフラ事業者に対するセキュリティ対策に必要な技術情報の提供等を行っています。



現在の業務内容

警察官が捜索差押え現場で押収したパソコンやスマートフォン等について、事件に関係する記録データの抽出等の電磁的記録の解析を行っています。また、捜索差押え現場に同行して、警察官への技術面のサポートも行っています。さらに、民間事業者等に対し、ランサムウェア等の不正プログラムに対する被害未然防止を目的とした講演を行うなど、サイバー犯罪やサイバー攻撃における各種対策の技術的支援を担っています。

2019年採用
近畿管区警察局
一般職試験(大卒程度)
機械

他省庁出向



現在の業務内容

私の仕事は、デジタル庁で受け持つシステムに対するセキュリティインシデント(機械やシステムのセキュリティに関する事故やリスクなど)への対応を行い、システムや個人情報などを守ることです。例えば、不審メールが送られてきた場合に、ウイルスが含まれていないかなどを確認して被害を未然に防いでいます。

デジタル庁
係員
2018年採用
一般職試験(大卒程度)
電気・電子・情報

留学



研究内容

安全で安心できる犯罪の起きにくい社会の実現に、国民は警察に大きな期待を寄せています。そのため、様々な分野において、犯罪を未然に防ぐ技術開発や研究を進めています。私は、行政官国内研究員として、現在筑波大学において、警察活動を高度化・効率化し、犯罪を未然に防ぐ研究をしています。具体的には、GIS(地理情報システム)やビッグデータ解析技術を用いた空間統計学等を習得しつつ、犯罪多発地域に焦点を当てて犯罪リスクを低減する応用研究を行っています。

2009年採用
無線従事者資格